

# 岩屋村ウインターキャンプ

## ■ 事業のねらい

支笏洞爺国立公園の自然を活用した自然体験活動をとおして、豊かな人間関係を形成しながら、コミュニケーション能力を育むとともに、環境に対する気づきや環境保全に向けた行動力を高める。



- 実施日 平成24年1月7日（土）～1月10日（火）（3泊4日）
- 参加対象 小学5年生～中学3年生 40名
- 参加実績 参加者：42名  
小5＝23名、小6＝17名、中1＝1名、中2＝1名  
男子＝23名、女子＝19名
- 運営協力者：学生ボランティア3名、一般ボランティア2名
- 後援 洞爺湖町教育委員会、壮瞥町教育委員会、豊浦町教育委員会、伊達市教育委員会、喜茂別町教育委員会、京極町教育委員会、倶知安町教育委員会、ニセコ町教育委員会、真狩村教育委員会、留寿都村教育委員会、札幌国際大学

## 1 事業実施の背景



地球温暖化やエネルギー問題、廃棄物処理の問題など、地球規模の環境問題がクローズアップされている中、私たちの子孫が豊かに生き、自然の恩恵を享受できるよう、よりよい環境を、次の世代に引き継いでいくことが重要な責務となっている。本事業は洞爺の冬の大自然をフィールドとし、自然体験活動をとおして、仲間と共感し、思いやりの心や規範意識を育み、コミュニケーション能力を身に付ける機会とするとともに、自然や環境に対する新たな気づきや、主体的に環境に配慮して行動できる意欲や態度を育成するものである。

## 2 プログラムデザイン

1日目 1月7日（土）であいの日																		
13 14 15 16 17 18 19 20 21 22																		
受付（ネイバル洞爺） 13:30～14:00										受	開	なかまづくり	夕食づくり		入浴	ふりかえり	就寝準備	就寝
										付	会	ミーティング	キャンプ最初の食事はチームで作ろう！					
2日目 1月8日（日）チャレンジの日																		
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22																		
起床洗面	朝食	ネイバル雪中運動会					昼食	森の雪合戦			休憩	夕食	ナイトハイク	入浴	ふりかえり	就寝準備	就寝	
		チーム対抗の運動会！走る、投げる、そして打つみんなで力を合わせよう！						チームで協力しながら雪で遊ぶ楽しさを味わおう！										ろうそくのランタンを作って出かけよう！
3日目 1月9日（月）冒険の日																		
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22																		
起床洗面	朝食	かんじきハイキング					パーティ準備	フェアウェルパーティー			入浴	ふりかえり	就寝準備	就寝				
		えぼし岩の山頂を目指してハイキング！山頂から冬の洞爺湖を眺めてみよう！						チームで発表の準備をしよう！魔法の鍋でチキンの丸焼きを作ろう！							キャンプ最後の夜はみんなで盛り上がりよう！			
4日目 1月10日（火）まとめの日																		
6 7 8 9 10 11 12 13 14 15																		
起床洗面	朝食	清掃	キャンドルづくり			まとめ	昼食	閉会式	解散13:00									
			雪だるま型のキャンドルを作ろう！															

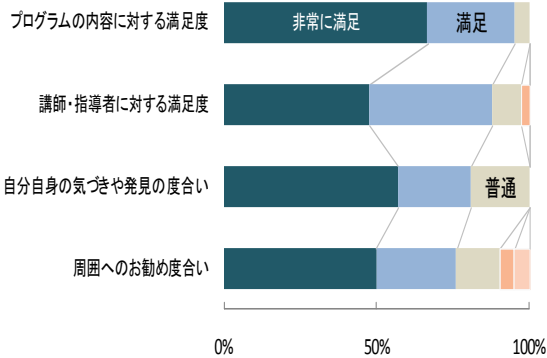
※天候等によって、内容を一部変更する場合があります。

## ■ アクティビティについて



- 意図
  - 冬の洞爺の自然環境を活用し、自然の中での様々な体験活動をとおして、雪とかかわりを持ち北国北海道らしさを体感しながら、自然や環境に対する興味や関心、主体的に自然や環境に配慮できる意欲や態度を培う。
  - 異年齢で構成されたチームでの活動をとおして、互いの考えや気持ちを認め合いながら、自己を成長させていくコミュニケーション能力を高める。
- 留意事項
  - 異年齢集団による交流、話し合いや発表の機会の充実を図り、冬の洞爺の自然体験活動をとおして、自然や環境について気づいたことなどをふりかえり、まとめたり、発表し合ったりすることなどの活動を充実するように工夫した。

### 3 活動の様子



### 4 事業評価



### 5 まとめ



#### ■ 当日の様子

初日は、仲間づくりゲームで交流を深めた後、異年齢集団で構成されたチームでの活動による夕食づくり（鍋料理）に取り組んだ。鍋ができあがる頃にはチームの仲間同士が打ち解ける姿が見えた。

2日目は、雪まみれになりながらの「雪中大運動会」や、チームごとに作戦を立てて行った「森の雪合戦」「ナイトハイク」などを行い、冬の洞爺の豊かな大自然と親しんだ。

3日目は、「えぼし岩」まで、かんじきを履いてトレッキングを行った。深雪の中、自然と親しみ、自然環境について学びながら、参加者全員が山頂に到着することができ、チームで達成感を味わった。フェアウェルパーティーは、替え歌でキャンプの思い出を発表し3日間のふりかえりを行った。

最終日には、思い出の品として、「雪だるまキャンドル」を作製した。閉会式では保護者も交えて、思い出のスライド上映を行い、冬の洞爺の自然とふれあいながら自然環境を学んだ4日間の思い出を共有しキャンプを締めくくった。

#### ■ 参加者の声（アンケートから）

- 最初はチームがバラバラだったけど、段々とチームワークが深まった。
- チームの仲間と協力して、初めてのことに挑戦できた。
- 新しい友だちやボランティアの人たちと仲良くなれて、安心して3泊4日を過ごすことができた。とても勉強になるキャンプだった。
- 雪中運動会や雪合戦など、自然の中で雪をつかって遊べたのが楽しかった。
- 寒かったけど、星がとってもきれいに見えた。
- 自然の中で動物の足跡とかを発見できてよかった。
- 冬の自然の中でも、色々な遊びが出来ることがわかった。

#### ■ 評価方法・重点

本事業は、冬の洞爺の自然の中での様々な体験活動をとおして、コミュニケーション能力を育むとともに、環境に対する気づきや環境保全に向けた行動力を高めることを目的としたため、「交友・協調」「視野・判断」「思いやり」「自然への関心」「野外生活・技能」「日常的行動」の向上について重点を置いた。

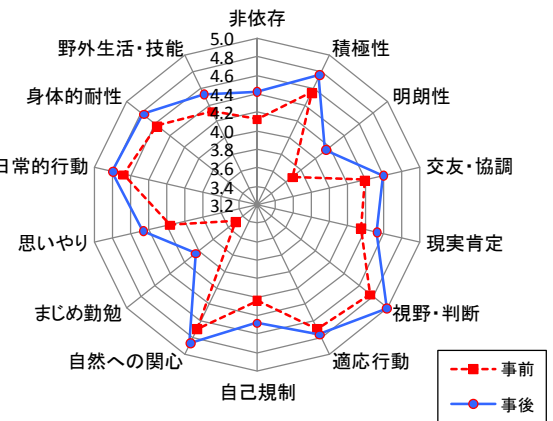
#### ■ 参加者の変容【IKR調査結果】

全項目での向上が見られたが、その中で、最も向上が見られたのは「積極性」の0.5ポイントで、次いで「思いやり」で0.4ポイントであった。重点を置いた「視野・判断」は0.3ポイント、「交友・協調」「自然への関心」「野外生活・技能」はそれぞれ0.2ポイントの向上が見られた。

#### ■ 結果の分析・考察

全ての項目で向上が見られたのは、冬の洞爺の自然とのふれあいによって多くの気づきがあり、異年齢での活動をとおして、自然を楽しむこと、自然を守ることに積極的にかかわっていく態度が育成されたことによるものと考えられる。

また、常にコミュニケーションを図りながら、計画的に仲間と行動を共にしたことにより、参加者に、明朗性や勤勉な態度が形成されたと考えられる。



#### ■ 成果

- 厳しい冬の洞爺の自然環境の中で、異年齢集団で構成されたチームでの活動を重視することにより、自然に対する新たな気づきや、自然との共生に関する優れた知恵や工夫、豊かな自然や環境を守っていこうとする意欲や態度を育むことができた。
- グループでの体験活動の企画・立案、活動のふりかえりの時間を多く設定したことにより、コミュニケーション能力や情報活用能力、判断力を高めることができた。

#### ■ 課題・今後の方向性

- 今後も、冬の魅力的な洞爺の大自然を活用したプログラムを開発し、自然を生かした体験活動をとおして、環境教育や豊かな人間関係の形成やコミュニケーション能力を体得する機会の提供をしていきたい。